

★第21回 白石東地区室内スポレク大会

21回目となる白石東地区の室内スポレク大会が、1月27日（日）に大谷地小学校で開催されました。

大会は、ミニバレーとテニポンの2種目が行われ、ミニバレーには8チーム41名が、テニポンには13名が参加し、熱戦が繰り広げられました。

ミニバレーは、町内会や少年野球チームの保護者が集まってチームを作ったの参加です。8チームが二つのグループに分かれ、4チームずつのリーグ戦を行い、それぞれの上位2チームによるトーナメント戦で、順位を決めました。

ミニバレーのボールは、ビーチバレーのボールの様に、空気が入ったビニールの大きい玉で、空気の抵抗を受け、なかなか思うように飛びません。変化するボールを追いかけながら、選手は悪戦苦闘しながらも、華麗なレシーブやトス、見事なスパイクを決める選手もいました。

結果は、優勝が下白石町内会チーム、準優勝は白樺MBロジャースBチーム、第3位は柏タイガースチーム、第4位は大谷地ヤングタックスBチームでした。

テニポンは、13名が参加し、男子ダブルス、女子ダブルス、混合ダブルスの試合を楽しみました。順位を争うことなく、毎試合、ペアを変えながら試合を行い、和気あいあい親睦を深めながら、プレーを楽しみました。



白熱のミニバレー



親睦を深めたテニポン

★第22回 白石区民室内スポレク大会

2月24日（日）に白石区体育館において、53チーム181名が参加して、白石区民室内スポレク大会が開催されました。

白石東地区からは、ミニバレーに4チーム、テニポンに6チームがエントリーし、監督を含め33名が参加しました。

ミニバレーの混合の部に出場した白石東Aチームは、快進撃で準決勝まで勝ち進みましたが、準決勝では優勝した東札幌Aチームに敗れ、3位決定戦でも北白石Cチームに2対1の接戦で惜しくも敗れ、メダルを逃しました。また、ほかの3チームも善戦むなしく1回戦での敗退となりましたが、来年の出場に向けて、闘志を新たにしていました。



善戦したミニバレー

テニポンでは、男子の部、女子の部、混合の部にそれぞれ2チームずつが出場しましたが、各チームとも残念ながら1回戦で破れ、敗者復活戦での上位進出を目指しましたが、4チームは力及ばず敗退、混合の部では、白石東Aチームと白石東Bチームは実力を発揮し勝ち進み、白石東地区同士の戦いとなった敗者復活戦でAチームがBチームを破り第3位となりました。

白石東地区を代表して参加されました選手の皆さんのご活躍に拍手を送ります。



白石東地区同士が対戦したテニポン

白石東地区では、平成25年度も各種スポーツ大会を開催する予定でありますので、より多くの皆さんの参加をお待ちしております。

取材担当：長井

取材スタッフ 蠣崎〔まち協〕・中村〔単町〕・鈴木〔育成〕・長井〔体振〕

スタッフ募集中！

お問い合わせ「白石東地区まちづくり協議会」

〒003-0026 札幌市白石区本通18丁目南2-6 白石東まちづくりセンター内

TEL：011-862-0813 FAX：011-862-8694 (休館：土・日・祝日)

Email：shiroishihigashi@yahoo.co.jp



地域限定の情報紙

白石東地区限定の情報紙「白石東まちづくり通信」を平成17年8月より発行しています。

本紙は、白石東地区まちづくり協議会が編集局になって地区内を取材し、年3回発行する予定です。みなさんも身近な話題をどしどしお寄せ下さい。スタッフが取材に参ります！

雪であそぼう！at大谷地小学校

恒例の「雪であそぼう！at大谷地小学校」が1月11日（金）に大谷地小学校のグラウンドで開催されました。

今年は例年になく降雪が多く寒い日が続いたため、前日の会場作りは大変でした。深く硬い雪が会場作りの作業をさまたげましたが、総勢30名を超えるスタッフと3台の除雪機により、どうにか、「坂すべり」の雪山や「迷路」のコースなど会場を作り上げました。

イベント当日は、天候に恵まれ、厳寒にもかかわらず、スタッフを含めて約500名の皆さんが参加し、遊びのコーナーはどこも大盛況で子どもたちの歓声が聞こえました。

遊びのコーナーは、色雪遊び、雪中カルタ、迷路、雪中サッカー、坂すべり、雪中相撲など盛りだくさんで、子どもたちは寒さを忘れ、思い思いのコーナーで楽しく遊んでいました。最後は、参加者全員でアンパンマン体操をした後に宝探し、子どもたちはペンダントを雪の中から探し出し大喜びでした。楽しい時間はあっという間に過ぎていきました。



前日の会場づくり



会場いっぱいの子どもたち

おかげさまで、たくさんの親子、保育園や幼稚園の子どもたち、小学生の皆さんが遊びに来てくれました。また、スタッフは、青少年育成委員会、民生委員児童委員、町内会や各種団体の皆さん、そして学生ボランティアの皆さん（東白石中学校、白石高校、札幌商工会議所附属専門学校、札幌国際大学の学生・生徒の皆さん）にご協力していただきました。皆様に心より感謝申し上げます。



宝は、どこ？

今年の参加募集のポスターとチラシのデザインは、札幌商工会議所附属専門学校にご協力をいただきました。また、「白石でっち奉公」で白石東まちづくりセンターに来た東白石中学校の生徒さんに、会場案内ポスターを作成していただきました。ご協力ありがとうございました。

今年の7月には「みんなであそぼう！at白石南公園」を開催する予定ですので、皆さん是非遊びに来てください。



雪の迷路、出口はどこ？



雪中かるた



坂すべり「ワー」

取材担当：鈴木

白石でっち奉公

平成24年11月28日(水)に「白石でっち奉公」(就労体験事業)で、東白石中学校2年生の2名が、白石東まちづくりセンターに来ました。

「白石でっち奉公」は、平成13年に「地域で子供たちを育てよう」という趣旨で、小・中学校の児童生徒が実際に就労体験する事業として、白石区ふるさと会が主催し始めた事業です。

白石東まちづくりセンターには、毎年、東白石中学校の職業体験学習で2年生2名が来ています。



ただ今就労体験中

まちづくりセンターの仕事や地域との係わり、白石東地区のことについて、まちづくりセンターの所長さんからお話を聞いた後、「雪であそぼう! at 大谷地小学校」の案内ポスターを2枚作成してくれました。

最初の頃は、緊張してぎこちない様子でしたが、作業が進むうちに段々と緊張がほぐれ、二人も打ち解け、作業は急ピッチで進み、素晴らしいポスターが出来上がりました。ありがとうございました。



会場に貼った案内ポスター

取材担当：蠣崎

家具等転倒防止対策講習会

栄通19・20丁目町内会では、平成24年12月2日(日)に、「家具等転倒防止対策講習会」を行い、約30名が受講しました。

大地震発生時の家庭内での主な負傷原因は、「家具の転倒や落下」です。阪神淡路大震災では、死亡原因の約9割が、倒壊した建物や倒れた家具による「窒息死」「圧死」です。また、負傷原因の約7割が、倒れてきた家具や割れたガラスです。

講習会では、札幌市における地震災害の想定を聞いた後、大地震発生時の家屋内の状況映像を見てから、家具転倒防止の重要性や対策の説明を受け、実際に家具転倒防止器具などの取付け方法を学びました。

受講者は、「自宅に帰ってから、家具の転倒防止を実践してみよう。」「家具の配置を確認してみよう。」と真剣に話していました。



熱心に講義を聞く町内の皆さん

取材担当：中村

熟練の技! 見事な腕前・ここにあり

白石東地区では、素晴らしい技術の持ち主が活躍しております。

活躍の場は、厚生労働省が後援したクリーンライフビジョン21〔全国ワイシャツ仕上げ大会〕です。

平成24年度の大会において、北海道代表として、全国10地区の精鋭とその技術を競い、見事第三位にあたるビジョン21賞を受賞しました。

その方は、東白石町内会内に店舗を構える「本間利吉さん」白樺クリーニング店のオーナーです。

15歳でこの道に入り、店舗を構えて40年、御年70歳まだまだと意気盛んな本間さんです。

何事にも挑戦する本間さんは、過去の大会を見ると、平成19年、21年には準優勝という輝かしい成績も残されています。

一口にアイロンがけと言っても、生地の厚さ、乾き具合、アイロンの熱加減、制限時間など、様々な要素があり、大会の緊張の中、熟練の技がここに活かされているものと思います。

また、本間さんはご夫婦そろって、地域における町内会活動・ボランティア活動に取り組んでおります。今後の益々のご活躍をご期待申し上げます。



取材担当：長井

子どもかるた大会

1月20日(日)に「子どもかるた大会」が白石東会館で開催されました。町内会ごとに小学生と中学生でチームを組み、11チーム59名の子どもたちが参加し、百人一首の「下の句かるた」を楽しみました。

11チームがそれぞれ4チームと対戦して、その結果の上位4チームが決勝戦と三位決定戦を戦い、順位を決めました。



楽しい昼食タイム

途中の昼食では、大会を主催した青少年育成委員会の会員が朝早くから準備した、お雑煮・お汁粉をみんなで食べました。子どもたちは真剣勝負でお腹がすいたのか、用意された大鍋3個のお雑煮・お汁粉を瞬く間に完食し、楽しいひと時を過ごしました。

子どもも大人も一緒になって練習し真剣に挑んだ大会、朝から会場は、普段感じられない緊張感が漂い、大人顔負けの熱戦、真剣勝負が繰り広げられ、接戦を勝ち抜いた大谷地第二町内会の「ちはやふる」チームが優勝、準優勝は柏町内会の「柏・嵐」チーム、大谷地第二町内会の「あまつかぜ」チームが第3位となりました。

小学1年生から中学2年生まで参加した「子どもかるた大会」、誰でもが楽しめる伝統の遊びとして、子どもたちに受け継いで欲しいと思います。

ご協力いただきました読み手の皆さん、スタッフの皆さん、ありがとうございました。

取材担当：鈴木



勢揃いした子どもたち



真剣勝負

第2回白石東地区「雪あかりのまち」

2月1日(金)に今年で2回目となる「白石東地区雪あかりのまち」を実施しました。

このイベントは、北東白石地区で「雪あかりのまち」を実施している北東白石地区まちづくり協議会からの呼びかけで昨年、初めて実施したものです。

会場はJR平和駅連絡口(平和通16丁目)付近で、午後5時から7時30分頃までアイスクャンドルを点灯しました。

2回目となる今年は、1ヶ月以上前からアイスクャンドルの制作に取組み、用意されたアイスクャンドルは50個を超えました。

当日は昼頃からJR平和駅連絡口前の雪山を削って階段状のステージを作り、アイスクャンドルを並べ、また、向かい側のバス回転場所付近には、アイスクャンドルをピラミッド状に積み重ねました。

JR平和駅を利用する方々や地域の方々からは、アイスクャンドルの灯火で彩られた風景を見て、「きれいですね。」と話をされたり、カメラで撮影する方もいました。



ピラミッドのアイスクャンドル



ステージに並んだアイスクャンドル



ご協力いただいた皆さん

寒い中、スタッフとして携わっていただいた地域の皆さん、ありがとうございました。

取材担当：長井